

2011年4月東北地方太平洋沖地震千葉地区被害調査速報(No.7)

土木学会関東支部 東北地方太平洋沖地震千葉地区 緊急災害調査団
木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 鬼塚研究室

調査日：平成23年4月24日

調査者：鬼塚信弘および同研究室学生（木更津工業高等専門学校）

調査地域：千葉県香取市，茨城県潮来市，千葉県旭市

調査方法：外観調査

調査地点1：千葉県香取市（佐原地区）



掲載している写真の調査箇所（Google map より引用）

No. 1-1 道の駅・川の駅 水の郷さわら

利根川沿岸の広範囲において，多数の地割れの発生やコンクリート床板のずれが生じていた．最大幅は約120cm，最大の高低差は約30cmであった．





液状化が発生した噴砂の痕跡があり，所々に地表面が盛り上がっていた。



利根川沿岸一帯に敷いたストーン入りブロックが地盤沈下によって崩れ，水に浸ったり，せり上がったりしていた。



アスファルト舗装が盛り上がっている箇所が多数あった。



No. 1-2 香取市役所付近の住宅地・公園

住宅地において、液状化により電柱が多数傾斜していた。



液状化により、公園内の排水溝片側が約 40cm 浮き上がり、隣接道路表面には水が出ていた。



No. 1-3 香取市役所東道路沿いのみなと橋

地震により、橋の両端部からの圧縮で、橋の中央接合部が約 30cm 浮き上っていた。また、みなと橋下の川底からの浮き上りもあった。



調査地点 2：茨城県潮来市



掲載している写真の調査箇所（Google map より引用）

No. 2-1 稲荷山下バス停周辺

地震により、歩道に段差が生じ、道路に噴砂とマンホールが浮上した液状化の痕跡があったが、規模的には小さいものであった。



調査地点 3：千葉県旭市



掲載している写真の調査箇所（Google map より引用）

No. 3-1 いいおかみなと公園周辺

平成 23 年 3 月 16 日に調査した時と同様に、約 95cm 歩道が陥没した状態であった。



自転車の標識下が陥没した状態で、海岸堤防の修復はなされず、平成23年3月16日に調査時にあった自転車のポールが曲がったものは撤去されていた。



津波の被災を受けた住宅地は更地になり、漁港近くのストックヤードに住宅等の災害廃棄物が持ち込まれていた。



No. 3-2 ベイシアフードセンター旭飯岡店周辺

平成23年3月16日に調査時の電柱はまだ傾斜していた。医院の浄化槽のマンホールも約76cm浮上し、液状化の痕跡があった。液状化の影響で一部損壊していたレストランは、建物をジャッキアップし、基礎を再構築するなどの修復作業が進められていた。

